

①開設講習名	陶芸 日本の器を知る		②講 師	松尾伊知郎	
③講習会場	東亜大学		④会場所在地	山口県下関市	
⑤開 設 日	令和3年7月31日		⑥時間数	6時間	⑦受講予定人数 15人
⑧受講者募集期間	令和3年4月16日 ～ 令和3年6月26日		⑨履修認定時期	令和3年9月30日まで	
⑩履修認定対象職種	教諭	⑪主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校(美術)・高等学校(美術)教諭		
⑫受講料等総額	6,000円	(うち受講料以外の経費)			
⑬【到達目標】 陶芸における基本的な知識・器の制作技法の習得。日本の陶芸の特徴・海外での日本陶芸の今を知る。					
⑭【講習の概要】 下記の3点を中心に実技指導・講義を行います。 1. 陶芸の基本的な説明。 2. 器の制作技法体験習得。 3. 画像を使った講義。 【実技】 手びねり制作の基本的な技法である、ひねり出し・紐作り・たたね作りを体験習得して頂きます。 先ずは各技法の説明後、お碗・コーヒーカップ・皿等から作るものを選んで制作します。自分がイメージした形を作ることは難しく、すぐには実践出来ません。短い時間での実習ですが、少しでもイメージした形が作れるように指導いたします。制作だけではなく、生徒に教える時の注意点、何をどのように作らせるか、年齢による制作物の選び方、指導方法等もご説明します。 【講義】 実技前：土や制作工程等、陶芸の基本的な特徴を、資料を使い説明します。 実技後：現在、日本の陶芸は世界中で注目され、世界の陶芸に大きな影響を与えています。世界的にあまり例を見ない日本の食器の特徴。日本で独自に深化した楽焼、わび・さびにつながる美意識・精神性等、これらもその理由です。日本ではあまり知られていない世界で注目される日本陶芸の魅力を、画像を使いながら分かりやすくお話します。					
⑮【評価の方法・評価基準】 実技作品の提出。講評における内容。実技における成形技法習得度。講義内容の理解度。 評価基準 合 格：成形技法習得がみられる。講義内容を理解し、今後の仕事に反映出来る。 不合格：上記以外					
⑯【テキスト・参考資料】 資料を補習の中で配布。					
⑰【受講者への伝達事項】 動きやすく、軽作業が出来る服装で参加して下さい。					